

# 「これから重要になるSV・GSVのカンザス研修報告」

特定非営利活動法人 じりつ 代表理事 岩 上 洋 一

## ストレングス・モデル ケースマネジメント

出典 Basic Strengths Model Training Manual

Rick Goscha, Ally Mabry, Leslie Young, John Bomhoff,  
Matthew Blankers, Kellie Spencer

訳 筑波大学大学院 小澤温研究室の皆様他

参考文献 ストレングスモデル [第3版] リカバリー志向の精神保健福祉サービス  
チャールズ・A・ラップ, リチャード・J・ゴスチャ著 / 田中英樹監訳  
金剛出版

2014年7月26日～8月2日 カンザス大学 研修センターにて筑波大学大学院小澤温教授以下13名で研修を受講してきました。今日はほんの一部をお伝えします。

現在、ストレングス・モデルケースマネジメントの日本版研修マニュアルを作成中です。日本の相談支援専門員等の人材育成の方法論、研修システムもあわせて検討が必要と考えています。

# ストレングス・モデル

---

## 哲学

その人を見る方法であり、そして、その方法はその人との関係性のなかにある

## 方法とツール

- ▶ Strengths Assessment
- ▶ Personal Recovery Plan
- ▶ Group Supervision
- ▶ Field Mentoring
  
- ▶ ストレングス・アプローチ
- ▶ ストレングス・モデル
- ▶ リカバリー
- ▶ エンパワメント

## 原則

- ▶ 1. 人々はリカバリーし、生活を改善し高めることができる。
- ▶ 2. 焦点は欠陥ではなく、個人のストレングス(長所)である。
- ▶ 3. クライアントこそが支援関係の監督者である。
- ▶ 4. 関係性が根本であり本質である。
- ▶ 5. われわれの仕事の主要な場所は地域である。
- ▶ 6. 地域を資源のオアシスとしてとらえる。



# セクション1 リカバリーの道

リカバリー：人々が生活や仕事、学ぶこと、そして地域社会に参加できるようになる過程

---

## 人々はリカバリーし、生活を改善し高めることができる

---

- ▶ Hope
- ▶ Self - determination
- ▶ Choice
- ▶ Resupect
- ▶ A Non - Liner Process

人生を決定する力がある

自分を理解する方法を知っている

自分で人生を前向きに考えることができる

自分が元気であるために積極的に行動することができる

- ▶ リカバリーは、病気があるからできないという見方ではなく、病気があっても意味のある人生を送るためにゴールを設定し、ゴールに向かっていく過程がリカバリーとなる。たとえ上手くいかない状況が続いても本人が積極的に取り組んできたプロセスが成長につながる。ゴールに向かっていく中でいろいろな場面で選択し、自分で決めていくことになるが、その中で自分が何をしたいのか、自分にとって有意義なことは何かなど、自分自身を理解することにもなる。支援者が理解し、利用者の人生を定義するのではなく、本人自身が自分を理解し、やりたいことを見出していく。



# Personal Medicine

---

- ▶ Personal Medicineは、私たちの生活をよくするために、私たちが行うことです。それは、仕事、コミュニティ、信頼および家族のように、大きく重要なものです。また、私たちの生活の質や喜びを加えるために、好きなガーデニングや、ペットと遊ぶことのように小さな個人的なこともあります。
  - ▶ Personal Medicineは個人的なもので、私たち各自の特有なものを反映します。また、Personal Medicineは、最終的に私たちが個々で徴候を管理し、かつ病院に戻るような望まれない結果を回避するのを助けます。
  - ▶ あなたが快適に感じること
  - ▶ 意義ある生活にするために行なうこと
  - ▶ 自分自身が行なうことで快適になること
  - ▶ 日々の生活の中で楽しんで行なうこと
  - ▶ あなたが不快に思うときに役立つこと
  - ▶ 人生の中で最も重要なこと
- 



# セクション2 スtrenグスアセスメント

---

## スtrenグスの原則

---

### 焦点は欠陥ではなく、個人のスtrenグス(長所)である

---

- ▶ 人はそれぞれが持つ興味・関心や向上心, そして長所に基づいて成長する.
  - ▶ 人は, 人生をうまく生きるために家族や地域が有する資源を使う.
  - ▶ 人は、得意なこと、楽しめること、自分にとって意味のあることに時間を使う傾向がある。
  - ▶ 長所に焦点をあてることは, 行動の動機付けを強める.
  - ▶ 弱い部分に焦点をあてることは, 絶望や憂鬱といった感情を強める.
  - ▶ スtrenグスモデルは個の確立(自立)を助ける.
  - ▶ (焦点化することで)目標に対する(多くの)漠然としたアプローチを制限できる。
- 



# ストレングスの種類

ストレングス是对話と関係性から・・・。

性格・人柄／個人的特性	才能・素質	環境のストレングス	興味・関心／向上心
正直, うそをつかない	トランプの達人(心理戦・ペア戦)	家が居心地の良い安心できる場所である	ロックスターになりたい
思いやりがある	計算やお金の管理が上手	親身になって心配してくれる人がいる(Brother Sam:アメリカのテレビドラマの登場人物。過去に犯した過ちを悔いて修道士となり、自動車修理工場を経営し出所した元受刑者たちに働く機会を提供している)	魚釣りが好き
希望を持っている	自動車の修理(整備)ができる	親友と呼べるペット犬がいる	テレビで古い映画をみるのが好き
勤勉, よく働く	石垣を組み上げることができる	2年前は信頼できる地域社会に溶け込んでいた	コーヒーショップでたむろするのが好き
我慢強い	フラワーアレンジができる	伝統的な治癒施設であるスウェット・ロッジ(発汗小屋)がある(アメリカインディアンが儀式や集会に使う小屋。「治癒の場」と「心と体の浄化を伴う文化的な集まりの場」の二つの役割を持つ)	姪(のアリス)ともっと一緒に過ごしたい(『不思議の国のアリス』は作者が姪のアリスに向けて語った物語とされている)
繊細, 神経質	ベースボールカードについて全て知っている	自分にも居場所があることを分からせてくれる自殺ホットラインがある	近いうちに自分の車を持ちたい
話好き	コンピューターの奇才		
友好的, 愛想がよい	伝統的ロックミュージックについて詳しい		
喜んで人の手伝いをする	優れた記憶力		
自己犠牲の精神を持つ			

# ストレングスアセスメント

---

- ▶ ストレングスアセスメントは利用者にとって意義ある重要な文脈のなかにある。
- ▶ ストレングスアセスメントは利用者のやる気を引き出すものである。
- ▶ ストレングスアセスメントは独自性のあるものである。
- ▶ ストレングスアセスメントは利用者の言葉をそのまま使用する。
  
- ▶ ストレングスアセスメントの過程は利用者のペースで展開されて、時間をかけて埋められる。
- ▶ ストレングスアセスメントは関係をつくりながら会話形式で行われる。
- ▶ ストレングスアセスメントは可能なかぎり地域で行う。
- ▶ ストレングスアセスメントは利用者の課題に共に取り組みながら行う。
- ▶ ストレングスアセスメントは継続した過程の一部であり、その情報は常に更新される。



# セクション3 リレーションシップ&エンゲージメント

---

## 関係性が根本であり本質である

---

- ▶ Purposeful 目的ある関係 目的意識  
利用者がリカバリーすること。関係は目的志向である。計画を共有し、協働する。
  - ▶ Reciprocal 相互・対等な関係・互惠  
CMerは、リカバリーの旅を斡旋する旅行会社より旅行仲間のような役割をとる。互いに学びあいともに楽しんで旅行をする。
  - ▶ Genuine 純粹 ころから親身になる  
「普通の友好関係」であって、温かさ、受容、気遣い、尊重、そして楽しさという特徴をもち、双方を高めるものである。
  - ▶ Trusting 信頼すること  
関係性は相互信頼と尊敬に基づく。一緒にしませんかと招待する。してもいいですかと許可を得る。透明性、正直さ、約束が守られる。お互いの経験をわかちあう。
  - ▶ Empowering エンパワーメント  
力づける関係とは、利用者が自分を確立し、自己決定を行い、失敗する権利を行使する、情報を入手するといった領域において、その人自身の持っている力を発揮するよう手助けることである。自分を信じ、選択の自由を自覚し、その機会をもつこと。
- 






# セクション4 ゴールプランニング

---

## クライアントこそが支援関係の監督者である

---

### なぜ目標が達成されないのか

- ▶ 立てられた目標はその人自身の目標ではない
  - ▶ 目標を達成するために必要な社会資源が使用できない
  - ▶ 社会資源へのアクセスに困難がある資源となる人たち(サービスを提供する人)が、本人のニーズにできていない
  - ▶ 目標を達成するために必要な技術が欠落している
  - ▶ 目標を達成するために必要な情報の欠落または間違った情報の入手
  - ▶ 失敗に対する恐れ / 成功に対する恐れ
  - ▶ 同時期に沢山の目標を達成しようとしている
  - ▶ 時間が十分ではない / 目標設定が高すぎる / 目標設定が低すぎる / 楽しくない
  - ▶ 積極的な強化 / 報酬がない
  - ▶ 環境の変化、望んでいるまたは実行できそうな目標ではない
  - ▶ 目標達成を支援しない、関わりの強い他者の影響
  - ▶ 本人の意識の変化 / とても疲れている / 病気になった / 忘れた
  - ▶ 長期の目標が短期の適度な段階に分けられていない; 抽象的である
  - ▶ 本人一人の力では達成できない目標となっている(合理的な目標)
- 
- 

▶ NATURALLY OCCURRING RESOURCES

ナチュラルリソース: 家族、友人、学校、仕事、ペット

▶ FORMAL RESOURCES

CM、セラピー、精神科病院、精神科医、薬、SAS、PRP

▶ FORMAL SERVICES

障害者のためのサービス 他のサービスとの間に高い壁がある。

▶ Community services

社会(保障)サービス

▶ Informal supports

誰でも利用できるもの。ここでその人の本当の可能性が生まれる。個人と地域の独自性。

## セクション5

### 資源の獲得

---

われわれの仕事の主要な場所は地域である

---

---

地域を資源のオアシスとしてとらえる

---




# セクション6 パーソナルリカバリープラン

---

## クライアントこそが支援関係の監督者である

---

- ▶ 個人のリカバリーゴールについての発言 (statement) である。その発言は、その人が獲得したいと思っていることを含み、その人にとってなぜ重要で、有意義であるかを反映するものであること
  - ▶ 例: 「私はまた仕事に戻りたい。だって、働いている時、「私は普通なんだ」と感じられるし、幻聴 (voices) も気にならなくなるから」
  - ▶ リカバリーゴールを、小さく、かつ適度なステップにするための余白 (space) である。
  - ▶ 例: 求人申込を\_\_\_\_\_からピックアップしなさい。申込書に\_\_\_\_\_を書き込みなさい。
  - ▶ それぞれのステップにおいて、責任者 (responsibility) を指定する。その人 (責任者) は、ケースマネージャー、家族、友人などを含み、(それらの責任者は)、そのステップにおいてクライアントをサポートし、彼ら自身がそれを行うかどうかも選ぶことになる。
  - ▶ それぞれのステップは、達成されるように計画され、現実に達成されるよう指定される。
  - ▶ 彼らが共同で作業をしているのなら、ケースマネージャーとの次回の面接までの間に(その人が)成し遂げられるよう、可能な限り十分に細分化されたステップであるべきだ。
  - ▶ ゴールへの進捗度合いについて記述する。コメントは、希望を喚起するようなものであり、(その)ステップで得た重要な学びを含んだものであるべきである。
- 
- 

# パーソナルリカバリープラン

1. わたしの目標(リカバリーの各部分を達成するのに意味があり、重要な目標)

2. なぜ、その目標がわたしにとって重要ですか

3

① 今日何をしますか(達成するために、測ることのできる短期間(今日とは限らない短期間)のステップ)	② 誰が責任を負いますか(実行する人)	③ いつ達成しますか(達成期日)	④ 実際の達成日	⑤ コメント

4. 上記の目標はわたしのリカバリーの各部分の達成に重要です。

5. この人にとって上記の目標は重要であることを認めます。いつでもわたしは喜んでこの目標にむかってこの人が進むことを手伝います。

本人サイン

支援者(サービス提供者)サイン



# 準備のためのワークシート

このワークシートはあなたが目標を設定しようとしている時の準備の際に役に立つでしょう。

目標は下記の項目がより高い数字である場合に達成するチャンスが高まります。

0は全く達成していない状態を指し、10は達成したことを示します。あなたは、進歩を見出すこと、またどこに注目すべきかを特定することで、時間の経過の中で評価を繰り返すことができます。

氏名： \_\_\_\_\_

目標： \_\_\_\_\_

尺度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	重要ではない			まあまあ重要						大変重要		
この目標はどの位大切か												
	自信なし			まあまあ自信あり						非常に自信ある		
この目標を達成することにどの位自信があるか												
	支援なし			まあまあ支援あり						多くの支援がある		
この目標を達成するために十分な支援はあるか												
	時間なし			まあまあ時間あり						十分が時間ある		
この目標を達成するための時間はあるか												
	資源なし			まあまあ資源あり						多くの資源がある		
この目標を達成するための資金ともしくは他の資源はあるか												
	情報なし			まあまあ情報がある						多くの情報がある		
この目標を達成するための情報はあるか												



## セクション7 グループスーパービジョン

---

### ステップ1: ストレングスアセスメントの提出

参加者(クライアントに関わっているスタッフ)は、ストレングスアセスメントのコピーを作り、それを提出します。参加者(GSV参加メンバー)にストレングスアセスメントのコピーがいきわたらないまでは、この過程は働きません。

### ステップ2: クライアントのゴールは何か、わたしがグループから特に必要としている助言(助け)は何か

たとえば、「ジョーは仕事に戻りたいゴールをもっています。わたしは彼の関心にあった仕事についてのアイデアが欲しいと思います」、「メアリーは彼女の生活の中でもっと友人が欲しいです。わたしは彼女がもっと人に会える場所に関してアイデアが欲しいと思います」。クライアントのゴール(目標)がこの過程の中心的な段階です。もし、クライアントが特別なゴール(目標)をもっていないなら、クライアントにとって熱心で意味のあるゴールを見出すような関わり方について、思いをめぐらすような質問をグループではなされるべきです。この過程におけるポイントで重要なことは、チームが、成し遂げられることはなにかに焦点をあてることを保つことです。

---



## セクション7 グループスーパービジョン

---

### ステップ3: 現状は何か、すでに取り組んだことは何か

参加者(クライアントに関わっているスタッフ)は、現状とすでに取り組まれた2, 3のことについて、1, 2分で描きます。

### ステップ4: ストレングスアセスメントから明らかにされ、チームが必要としていることは何か

このポイントでは、ストレングスアセスメントを、2, 3分で概観することは有効である。それから、5~10分間で、チームは書かれていること、完全に掘り下げられていないことをより深く明らかにするために参加者(クライアントに関わっているスタッフ)に質問をします。たとえば、「ここに、祖母が協力的と書かれています。この人の人生・生活において彼女の役割をもっと教えてほしい」。このセクションでは助言をしてはいけません。この目的は、クライアントの目標を達成することを助ける次のステップにおいて、創造的で特別な示唆が提供されるために、クライアントについてより深い理解をすることを目的とします。



## セクション7 グループスーパービジョン

---

### ステップ5:ブレインストーミング

10～15分間、チームはアイデアをブレインストーミングします。これらのアイデアはクライアントの目標に関連していることが重要です。参加者(クライアントに関わっているスタッフ)は、(アイデアの評価をしてはいけません、または、「そうだが、しかし、・・・」)といったことを言わずに、すべてのアイデアを書き留めなくてはなりません。ここの目的はチームが創造的で解決的指向であることを認めることです。いくつかの素晴らしいアイデアはしばしばアイデアづくりを始めてからブレインストーミングの終わりに向かって出てきます。よいブレインストーミングは20～40のアイデアを生み出します。

### ステップ6:示唆されたことに基づいたわたしのプランは何か

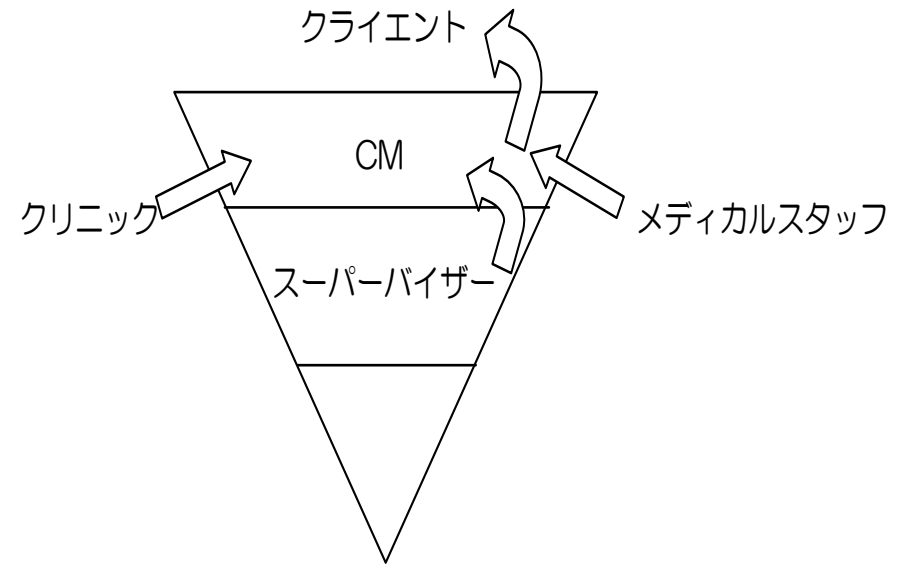
参加者(クライアントに関わっているスタッフ)は、アイデアを検討し、それから次に取り組むステップを明確に表明します。たとえば、「こんどの木曜日にジーンにあいます。わたしは、もし、彼女が地域との関わりをもっと得るような示唆を求めているならば、このリストをもって見せたいと思います」、「わたしは、ジムが動物好きなので、動物園に連れて行くアイデアを好みます。わたしたちがそこにいる間、彼の禁酒の目標について図るための動機づけをおこす面接技術を用いたいと思います。わたしはまた彼が酒を飲んでいない過去には彼にとってなにが支えていたのかを見出すストレングスアセスメントを作成するつもりです。





# Field Mentoring

- ▶ 教育的指導
- ▶ 構造化されたスーパービジョン
- ▶ 現場での教育的指導の焦点となる技能あるいは方法を決定する
- ▶ 技能を一緒に実践する利用者を特定し、実践場面を特定する
- ▶ 利用者の利益を特定する 目的を正直に伝える
- ▶ スーパーバイザーの役割を特定する かわりに聞いてほしい・自分のやりとりを見てほしい・情報をもっと聞き出してほしい等々
- ▶ スーパーバイザー 1週間で8時間  
GSV2時間、CMをレビュー2時間、話し合う2時間、一緒に活動する2時間



# ストレングスモデル日本版にむけて

---

- ▶ 実践としてのSCM
- ▶ システムとしてのSCM 人材育成 スーパーバイザー制度
- ▶ 開発と実践と評価
- ▶ 中核は本人中心の相談支援

